

第３章 計画の基本的な考え方

（ 案 ）

1 計画の基本理念

住み慣れた小平で、

いきいきと笑顔で暮らせる地域社会をめざして

- ・小平市第三次長期総合計画基本構想では、「健康で、はつらつとしたまち」を将来都市像の一つとして、「健康で快適な生き方を支援し、自由で自立した生活の向上をめざす」ことを、健康福祉分野の基本的な考え方としています。
- ・小平市第四期地域保健福祉計画では、「誰もが担い手、お互いに支え合いながら、安心して暮らせる地域共生社会をめざして」を将来目標に掲げています。
- ・本計画においては、小平市第三次長期総合計画基本構想の基本的な考え方と小平市第四期地域保健福祉計画に掲げる将来目標を踏まえて、「住み慣れた小平で、いきいきと笑顔で暮らせる地域社会をめざして」を基本理念とし、3つの基本目標に沿って高齢者保健福祉及び介護保険施策を推進していきます。

2 基本目標

本計画の基本理念を具体化していくため、以下の3つの基本目標の下に高齢者保健福祉及び介護保険にかかる施策・事業の総合的な推進を図ります。

I 地域でお互いに支え合い、誰もが暮らしやすいまちづくりの支援

II いつまでも、自立した、生きがいのある生活の支援

III 高齢者のニーズに応じたサービス提供の充実

I 地域でお互いに支え合い、誰もが暮らしやすいまちづくりの支援

- 高齢化が進む中、福祉のまちづくりや地域共生社会の理念に基づき、誰もが暮らしやすいまちづくりを推進します。相互に支え合う地域づくりを進めるため、福祉分野をはじめさまざまな分野にわたって市民が取り組む多様なボランティア活動等への支援を行います。
- 一人暮らしや認知症などの高齢者を対象とした見守り活動や生活支援等を効果的に推進するために、地域で高齢者を支えるネットワークづくりや生活支援・介護予防に関わる人材の育成に努めます。
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域における多職種協働とネットワーク構築を図るための地域ケア会議を推進するとともに、高齢者支援の中核となる地域包括支援センターでは、地域生活課題について、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整を行うなど、包括的な支援体制づくりに努めます。

II いつまでも、自立した、生きがいのある生活の支援

- 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活できるよう、サロンなど地域での居場所や高齢クラブ等の自主的な地域活動を支援するとともに、高齢者等の地域活動の担い手を養成し、活躍できる環境づくりを進めます。
- 自立した日常生活の支援、要介護状態となることの予防、要介護状態等の軽減を図るため、介護予防に資する事業や認知症の方を地域で支える事業の充実及び生活支援体制の整備に努めます。
- 地域全体で高齢者を見守り、支えていけるように、高齢者とさまざまな世代の交流を促進し、豊かな地域づくりを進めていきます。

III 高齢者のニーズに応じたサービス提供の充実

- 高齢化のさらなる進行と要介護等高齢者の伸びを踏まえて、介護保険サービスの量的な整備と質の向上を図るとともに、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援の一体的な提供を図る地域包括ケアシステムの構築をめざします。
- 認知症高齢者の増加に対応して、医療・介護など地域の連携のもとで総合的な認知症施策を推進します。
- 介護者の負担軽減や高齢者虐待の防止を図るために、家族への支援を充実させるとともに、地域全体で高齢者と家族を支える体制づくりを推進します。

3

施策の体系

小平市は、基本理念、基本目標を軸として、9本の施策に沿って、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組みを推進していきます。

基本理念

住み慣れた小平で、

いきいきと笑顔で暮らせる地域社会をめざして

基本目標

Ⅰ 地域で互いに支え合い、誰もが暮らしやすいまちづくりの支援

Ⅱ いつまでも、自立した、生きがいのある生活の支援

Ⅲ 高齢者のニーズに応じたサービス提供の充実

9 つ の 施 策

1 地域づくり・日常生活支援

2 見守り体制の充実

3 認知症施策の推進

4 在宅医療と介護の連携の推進

5 社会参加の促進

6 介護予防・健康づくり

7 権利擁護の充実

8 介護サービスの充実と給付の適正化

9 住まいの充実・支援

4 日常生活圏域の設定

小平市では、地域の成り立ちや人口の分布状況などから、市内を5圏域に区分し、圏域ごとの中核拠点として地域包括支援センターを設置しています。

今期計画においても、この5圏域の設定を継承し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、支援、相談、支え合い活動の充実に努めます。

また、平成29年度より各圏域に生活支援コーディネーターを配置し、生活支援サービスのニーズの把握や多様な地域資源との連携を行っています。

今期計画期間中は、この活動の活性化を推進するとともに、必要に応じて圏域の見直しについて検討していきます。

